

棚田通信



No.25 2015.12

NPO法人恵那市坂折棚田保存会

美しい石積み棚田の里だより

第21回全国棚田（千枚田）サミットに参加

と き：平成27年10月23日～24日

テーマ：共につたえよう美しく豊かな棚田 ～ふるさとを未来へつなぐ～

坂折棚田は、平成15年に第9回全国棚田サミットを実施しています。恵那市、恵那市先史文化研究会、坂折棚田保存会及び関係団体が主になって開催されました。今年で第21回になり、当保存会で実施してから12年を経過しております。

第21回の開催地は、佐賀県玄海町（原子力発電所のあるところ）で開催されました。玄海町社会体育館及び玄海町民会館文化ホールを主会場として実施されました。

開会式は、11時から始まったのですが、途中、列車の事故により遅れ、基調講演からの参加となりました。

基調講演は、講師：涌井雅之氏（造園家・ランドスケープアーキテクト）の「景観から見た日本の心」という演題で話がありました。「景観十年、風景百年、風土千年」と唱え、人と自然の空間的共存をテーマに、今の時代を「農業革命」「産業革命」に次ぐ第三の革命「環境革命の時代」と捉え、地球環境問題、とりわけ生態系サービス（生物多様性）を重視した、人と自然の共生を目指した持続的未來に向けた戦略的方向を探りつつ、「地球は限りある囲われたエデン」であるという話でした。

分科会は、つぎの4分科会でした。

第1分科会 棚田を未来につなぐ～棚田保全の必要性～

第2分科会 農業を未来につなぐ～棚田を活かした農業経営～

第3分科会 農村を未来につなぐ～地域資源を活かしたムラづくり～

第4分科会 棚田保全活動団体の運営と課題（西日本のみ）

このうち第3分科会の概要は、民泊型修学旅行を受けている事例等が発表されました。

修学旅行生（小学生）は民泊で受け入れており、料金は1人当たり4,800円＋体験1,600円＋延長1,600円の計10,000円。

またドブロック特区で、製造販売1,000本、味噌加工で1,000万円出資して生産販売している。離島での活動として島おこし実践塾で、そば屋、弁当屋体験を実施しているなど発表があった。

棚田現地見学は、4コースでした。そのうち、夕日沈む風景が美しいことで最も有名な浜野浦棚田は石積みの棚田でした。石の積み方は、自然石とブロック等の廃材が利用されていました。イノシシの被害が多いことから、電柵やワイヤーメッシュで対策されていました。面積11.5ha（283枚）で浜野浦の景色は「恋人の聖地」認定されています。

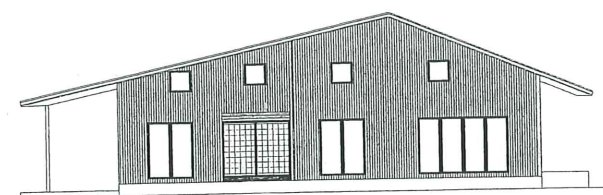
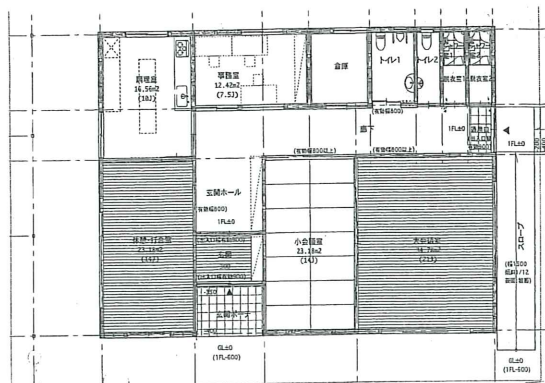


浜野浦棚田の夕日

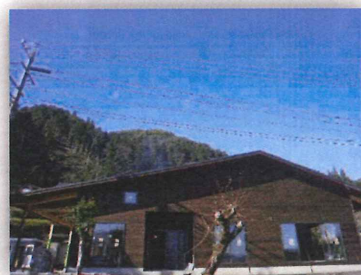
仮称「なごみの家整備事業」施設建設

待ち望まれていた、棚田・里山の体験交流施設が建設されることになって、去る9月2日地鎮祭、10月15日上棟式が行われ、建設が進んでいます。(現在約60%進行中)

厨房、食堂兼売店、小会議室(畳)、大会議室、事務室、倉庫、シャワー室、トイレがあります。目的は、主に都市住民との交流、研修施設です。坂折棚田の景観探索の拠点として、地域の皆様は勿論、坂折棚田に関心のある多くの方々に休憩、研修、座談会、各グループの話し合い、企業の方の研修などにご利用していただきたいと思います。完成は平成28年2月、使用については平成28年4月からと考えています。皆様のご利用を心からお願い申し上げます。



東立面



足場の取られた外観(12月9日撮影)

第10回石積み塾開催する

去る10月31日(土)、11月1日(日)の両日、第10回石積み塾を開催しました。参加塾生8人、そのうち石積み技工士の認定者4人でした。今回は、石積み箇所を根石から積むのではなく、石積みが孕んでいる所を取り除いて積み直すという方法で実施しました。

今にも崩壊するところを応急的に修復するわけで、その周囲も崩れかけており、根本的には根石から積まないで崩壊が進むとおもわれた。これからの石積み修復は計画的に実施することが重要となるでしょう。



石積み作業中



石積み作業終了後

平成２７年度通常総会報告

特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会の平成２７年度通常総会が、平成２７年６月２７日（土）午後１時３０分～中野方こども園遊戯室にて開催されました。

平成２６年度決算報告

平成２６年度 特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会 [決算報告書](#)

会計期間 平成２６年４月１日～平成２７年３月３１日（単位：円）

収入の部

項 目	決 算 額
会費収入	211,000
事業収入	7,916,279
補助金等	4,500,618
その他収入	173,841
未収金・借入金等	0
前年度繰越金	2,655,886
合 計	15,457,624

支出の部

項 目		決 算 額
事業費	棚田景観保全事業	1,277,842
	都市農村交流事業	3,163,400
	棚田ブランド開発事業	2,524,593
	文化伝承事業	238,400
	その他事業	3,036,103
	小 計	10,240,338
管理費	運営費	701,572
	需用費	924,150
	活動費	1,755,702
	小 計	3,381,424
合 計		13,621,762

平成２７年度予算

平成２７年度 特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会 [予算書](#)

会計期間 平成２７年４月１日～平成２８年３月３１日（単位：円）

収入の部

項 目	今年度予算
会費収入	226,000
事業収入	8,530,000
補助金等	3,175,000
その他収入	173,841
前年度繰越金	1,835,862
合 計	13,940,703

支出の部

項 目		予 算 額
事業費	棚田景観保全事業	840,725
	都市農村交流事業	3,150,000
	棚田ブランド開発事業	3,600,000
	文化伝承事業	80,000
	その他事業	730,000
	計	8,400,725
管理費	運営費	906,000
	需用費	760,000
	活動費	3,873,978
	計	5,539,978
合 計		13,940,703

坂折棚田保存会からのお知らせ

◎2016年(平成28年)「棚田の四季」カレンダー発売中

坂折棚田のフォトコンテストの優秀作品をカレンダーにしました。

2016年版は、より優れた作品を集めていますので、皆様に満足していただけるカレンダーに仕上がっています。是非ご利用をお願いします。

1部 1,000円(送料込み)

但し会員の方は800円(送料別)

連絡先 NPO法人恵那市坂折棚田保存会
電話:0573-23-2032
FAX:0573-23-2046
E-mail: sakaori-tanada@ia1.itkeeper.ne.jp

2016年 全農棚田百選 岐阜県恵那市 坂折棚田 棚田カレンダーの販売

毎年行われているフォトコンテストの受賞作品を使って
カレンダーを作っています
2016年、自宅で棚田の風景を昇ながら暮らしませんか



棚田の四季



2ヶ月カレンダー
表紙+6枚綴り

カレンダーの売上の
一部は、棚田保存の
為に使用致します。
皆さんの力強い
ご協力をよろしく
お願い致します。

大好評発売中

通常価格
1部1,000円(税込)
800円(税込)

◎2016年版年賀状も発売中!!

新春のごあいさつに相應しい、
棚田の雪景色です。



1枚 70円

ご利用ください。



◎第7回炭焼き塾開催

*平成28年1月10日 原木割り作業
1月16日 火入れ
2月6日 炭だし

*参加費 1人1日3,000円 (昼食含む)

*申し込みは1月6日(水)まで



第6回炭焼き塾炭だし風景

編集後記

いよいよ2015年も残り少なくなってきました。今年は、終戦から70年を過ぎ、世界的にもISの台頭など、改めて平和について考えることの多い年となりました。坂折の棚田が守られてきた400年を思えば、これから、未来の人々にこの宝物を残していけるよう、今を大切に、地道な保全の努力をしていかなければと痛切に思います。その一助に小紙がなれば幸いです。棚田通信25号をお手元にお届け致します。棚田からのお便りで、年末のひととき楽しんで頂ければ幸いです。

NPO法人恵那市坂折棚田保存会 電話:0573-23-2032 * FAX:0573-23-2046 * 携帯:080-1553-0315
E-mail: sakaori-tanada@ia1.itkeeper.ne.jp ホームページ : 坂折棚田

検索